

多摩平団地（多摩平の森）再生

駅周辺を含めた多摩平の森地区（旧多摩平団地）の再生

昭和33年～35年に建設された大規模団地の多摩平団地再生事業に、平成元年建替検討調査の当初より参画し、建替テーマ、土地建物利用方針、配置・建物基本設計の作成等を実施してきた。とくに、豊かに成長した団地・地域の資産である緑をどのように継承していくか保全・再生の方向が計画上の大きなテーマだった。また、駅前周辺地区の課題である駅前交通広場の更新や商店街の衰退化等の問題に対し、市・地元住民参加のまちづくり懇談会のコーディネートを務め、駅前を含めたまちづくり計画のとりまとめ等を行い、用途地域・地区計画の都市計画変更の支援も行っている。

現在は、市のコンセプトである医療・介護機能の充実と連携、市民へのシームレスなサービス提供の実現に向けて、公共公益施設等整備構想にもとづきA街区の事業者間のデザイン・運営管理の調整会議を支援している。

また、既存住棟を民間事業者の創意工夫で活用するUR都市機構の住棟ルネッサンス事業を整理している。

所在地	東京都日野市多摩平
発注者	UR都市機構
敷地面積	約29ha
工期	平成元年～平成25年